

2019年6月21日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 520

科研費改革の進展と申請・獲得方策 3

～ 新審査の要点と留意点／計画調書作成のチェック／支援の実際 ～

7月11日（木）開催

ご参画・ご派遣のお願い

本日、「令和元年度科研費」における「基盤研究」「学術変革研究」「若手研究」の各種目群の交付決定が通知されました。研究者各位におかれては、研究活動を本格化するとともに、各大学・研究機関では補助金の受納事務等でご多用のことと拝します。

科研費“審査システム改革 2018”は3年度目を迎えております。大括り化した新「審査区分表」に対応して、大区分（11）と中区分（65）における「総合審査」、及び小区分（306）における「2段階書面審査」の新審査方式が運用されました。また、「研究計画調書」の構成・項目枠組みの変更とともに書式の改訂がなされました。

各大学におかれては、大改革初年度、そして昨年度の過去2回の採択結果についての検証・総括とともに、本年度対応について、鋭意、検討作業中のことと存じます。教員・研究者各位とともに、国公立大学を中心に配置が急速に進むUR A及び研究支援スタッフにおかれても、ネットワークの中での情報交流・共有が進展しております。

2019年度の科研費の制度改善について、去る3月11日に下記が公表されております。

1. 海外における研究滞在等による科研費の研究中断・再開の仕組みの導入について
2. 研究開始時における「研究の概要」の公表について
3. 研究終了後の公開情報の充実について

さらに、事業内容の重点として、次の2項目が挙げられます。

1. 中核的研究種目の充実を通じた「科研費若手支援プラン」の実行
2. 国際共同研究の推進（「国際共同研究加速基金」の拡充）

さて、小会KKJにおいても、長年にわたり、セミナー及び出版により、“科研費”情報をホットに発信してきました。今次は、日本学術振興会の牛尾 則文理事、横浜市立大UR Aの岡野 恵子氏、大妻女子大の大澤 清二副学長の3人のコアパーソン氏に出講賜わり、本セミナーを企画・開催いたします。